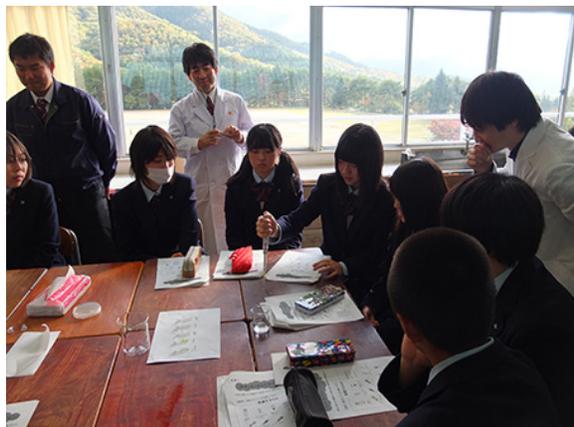


理科教育支援 2012 年度の活動



キリンは、「東北バイオ教育プロジェクト」を通じて、岩手県、宮城県、福島県の高等学校・高等専門学校を対象に研究支援プログラムを提供しました。また、日本農芸化学会による理科教育支援へのサポートを行いました。

2013年4月1日

理科

東北バイオ教育プロジェクトを通じた活動

株式会社リバネスを協賛会社として、2012年8月から、東北地域の高校において今後のバイオ産業を担う次世代を育成する「東北バイオ教育プロジェクト」をスタートしました。

2012 年度参加校決定

東北バイオ教育プロジェクトについては、当社ニュースリリースおよび専用ウェブサイトをご覧ください。

東北地域の高校を対象としたバイオ分野の次世代育成プロジェクト「東北バイオ教育プロジェクト」：2012年度参加校決定（2012年9月20日付 ニュースリリース）

https://www.kyowakirin.co.jp/pressroom/news_releases/2012/20120920_01.html#_ga=2.216589781.292376945.1618189800-369102178.1617354372

東北バイオ教育プロジェクト

https://lne.st/2019/12/09/tohoku_science_castle_tomiya/

| | |
|-----|---|
| 岩手県 | 学校名：岩手県立高田（たかた）高等学校 テーマ名：津波被災土壌および海水からのバイオ燃料生産藻の探索 |
| 宮城県 | 学校名：宮城県水産高等学校 テーマ名：魚醤の高温発酵過程における微生物叢遷移の解析 |
| 福島県 | 学校名：福島県立新地高等学校 テーマ名：環境制御型農業における育成培地の研究 |



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

理科教育支援 2012 年度の活動



公益社団法人 日本農芸化学会による理科教育支援へのサポート

出前授業・出前実験

岩手県、宮城県、福島県の9つの高等学校を対象に、出前授業・出前実験の開催および実験機器等の寄贈を行いました。

| 回数 | 開催日 | 訪問学校 | タイトル・講師 |
|-----|------------------------------|---------------|--|
| 第7回 | 2012年12月17日 | 福島県立小高商業高等学校 | 「ヒトの暮らしと微生物－私たちの生活を支えてくれる小さな巨人－」 米山 裕 氏（東北大学大学院農学研究科 准教授） |
| 第6回 | 2012年11月7日 | 福島県立安積黎明高等学校 | 「植物の栄養の話」 藤原 徹 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授） |
| 第5回 | 2012年11月7日 | 福島県立安達高等学校 | 「放射線の話」 中島 春紫 氏（明治大学農学部 教授） |
| 第4回 | 2012年9月11日 | 岩手県立大東高等学校 | 「おいしさと健康の科学」 熊谷 日登美 氏（日本大学生物資源科学部 教授） |
| 第3回 | 2012年7月19日 7月23日 7月24日 | 宮城県仙台二華高等学校 | 「組換え DNA 技術がもたらした生命科学・医学研究への影響」 米山 裕 氏（東北大学大学院農学研究科 准教授） |
| 第2回 | 2012年6月25日 | 宮城県尚絅学院高等学校 | 「麹菌のアミラーゼ検出実験・簡易 DNA 抽出実験」 中島 春紫 氏（明治大学農学部 教授） |
| 第1回 | 2012年6月18日 | 福島県立浪江高等学校津島校 | 「小さな微生物の大きな力」 阪井 康能 氏（京都大学大学院農学研究科 教授） |

理科教育支援 2012 年度の活動

被災地からの研究室訪問

被災地の高等学校からの研究室訪問を行いました。支援内容の詳細はこちらからご覧いただけます。

被災地理科教育支援（日本農芸化学会ウェブサイトへリンク）

https://www.jsbba.or.jp/science_edu/hisaichishien/

| 回数 | 開催日 | 訪問学校 | 訪問先研究室 | タイトル・講師 |
|-------|-------------------|------------|---------------------------------|-------------------------|
| 第 1 回 | 2012 年 8 月 9 日 | 福島県立安達高等学校 | 東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物化学研究室 | 「匂いとフェロモンの話」 東原 和成 氏 |

ジュニア農芸化学会への招待

第 1 期目の支援対象校として、3 県から 6 つの高等学校が選定されました。本支援の一環として、支援対象校の生徒の皆さんは、日本農芸化学会が主催するジュニア農芸化学会 2012 (京都) に招待され、被災関連のポスター発表を行いました。また、同会場では、本支援の目録贈呈式も執り行われました。支援対象校には、顕微鏡などの実験器具を寄贈しました。日本農芸化学会リリースはこちらからご覧いただけます。

被災地理科教育支援目録贈呈式開催について（日本農芸化学会ウェブサイトへリンク）

http://www.jsbba.or.jp/science_edu/hisaichishien/hisaichishien_pr_20120307.html

